

言語聴覚療法（ST）

何らかの原因で聞こえやことば、飲み込みに障害を持つ人に対して、生活に必要なコミュニケーション能力やスムーズな飲み込みができるよう、訓練・指導・援助を行います。

チーム医療を実践

入職した頃は、臨床現場で多職種との連携が思うようにとれませんでした。チーム医療を実践する中で人間関係に悩むこともありましたが、でも、相手への伝え方を工夫するなど、少しずつ改善していき、病棟スタッフと一緒にチーム医療を実践できるようになりました。多職種間とのコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。

これからはSTとして自身のスキルを磨いていきたいです。医療の世界はエビデンスも日に日に進歩しており、STも呼吸リハビリができるようになりました。知識・技術ともに磨いていきたいです。



急性期・2016年入職

言語聴覚士

患者様と接することに喜びを感じて

失語症や構音障害、嚥下障害などをもった患者様は、病態の影響もあり、少し良くなったとしても実感されることが難しくて…だからこそ、患者様やご家族が良くなったと感じて喜んでくださる瞬間に立ち会えるのが嬉しいです。

ただ、リハビリで接するのは良くなる患者様ばかりではありません。終末期の患者様を担当することも多く、ご本人・ご家族の気持ちに寄り添いながら最期まで食べられる時間も大切にしています。

これからもセラピストをはじめ、医師や看護師さんたちとディスカッションをしながら、チームで協同して患者さんと向き合っていきたいです。



急性期・2021年入職

言語聴覚士